

## 平成30年度第1回恵那市総合教育会議議事録

日 時 平成30年6月27日(水) 午後3時28分～午後4時50分

場 所 恵那市役所西庁舎4A会議室

会議次第 1. 市長、教育長あいさつ

2. 議題

(1) 恵那市総合教育会議について

(2) 恵那市におけるいじめの防止等のための基本的な方針について

(3) ICT教育について

(4) その他

出席構成員：恵那市長

小坂喬峰

(6名) 教育長

大畑雅幸

教育委員

西尾修欣

鎌田基予子

樋田千史

村松訓子

事務局： 副教育長

児玉光弘

教委委員会事務局長

加藤真治

教育総務課長

西尾克子

学校教育課係長

古川暉久

学校教育課主任

横田洋平

教育総務課係長(記録) 三宅英機

開会（午後3時28分）

■事務局（西尾教育総務課長） 平成30年度第1回恵那市総合教育会議を開催する。

恵那市総合教育会議設置要綱の改正に伴い事務局を教育総務課で行い、設置要綱第5条に基づき会議を公開し、会議録も公表することを説明する。

## 1. 市長、教育長あいさつ

■市長 今回第1回目の恵那市総合教育会議ということで、この会議は市長部局と教育委員会の対等な執行機関の協議と調整の場であるので、気軽に意見交換したい。恵那市の人口が減っていることは承知だと思うが、長い目で見ていくと最も教育が大事であると思う。将来子どもが恵那を背負っていく、何とかしたいという思いで育ってることが大事である。市長としてできるかぎり教育を応援していきたい。皆さんからも色々な意見をいただきたい。

■教育長 27年度に教育委員会新制度が始まり、総合教育会議は初年度は3回、28年度は1回、昨年度は新制度に慣れていないこともあり会議が開催できなかった。この会議は、他県のいじめ問題から始まり、教育委員会だけでは対応できないことから市長部局も応援が必要になり、市長主導の総合教育会議が発足した。本日の議題の恵那市いじめ問題対策検討会は、昨日の議会でも発足していくことを説明した。関心も高いと思うが、いじめ問題全体を検討する場であり、個別案件は扱わない。検討会は公開し、既存の組織を見直していじめに対応していく方針である。もう一つの議題であるICT教育については、昨年全小学校にタブレット端末を導入し、今年度は全中学校に導入する予定でいる。しかし、活用方法については学校間で温度差がある。進んでいる学校を手本として、全学校に推進していく。

## 2. 議題

### 2-（1）恵那市総合教育会議について

■事務局（加藤事務局長） 総合教育会議についての要旨説明を行う。教育委員会の代表を教育長に一本化し、教育長は議会の同意を得て市長が任命するものとした。あわせて教育長へのチェック機能を強化したことや、総合教育会議は市長と教育委員会で十分な意思疎通を図り地域の教育課題などを情報共有して、より民意を反映した教育を推進するために設置されたことを説明する。また他市町村の総合教育会議の事例を紹介した。

■西尾委員 自分たちは教育委員の立場であるが、年に数回程度になると思うが、市長から意見を聞く機会は貴重なので、ぜひ今後も会議の場を持って意見交換をしてほしい。

■市長 自分も人づくりが大事だと思っているし、こういう場を設けていただけるとはありがたいと思っている。教育のプロである皆さんのご意見を今後もぜひお聞きした

い。

## 2- (2) 恵那市におけるいじめの防止等のための基本的な方針について

- 事務局（副教育長、古川担当係長） 平成25年から国の方針が示され、県の改定を受けて市も実行可能なものにしようと方針を改定し、恵那市いじめ対策検討会を公開して進める。方針では被害を受けている子どもがいじめだと認識した場合、いじめと判断して対策をしていくことなどを説明する。なお、対策検討会では個別のいじめ案件について検討する場でない。市長がかかわる恵那市いじめによる重大事態再調査委員会は、先に行う教育委員会の調査結果が、一般世論に受け入れられない内容等不十分と判断された場合に開かれることを説明した。
- 樋田委員 最近のいじめの現状などで、いじめの解消を学校ではどのように措置を施したのかなどを、情報収集すると良い。いじめの件数は多いか。
- 教育長 すべてを報告するよう徹底したので、件数は増えている。ただし、数が問題ではなく未解決な案件が何件残っているかが問題。早期発見、解決を子ども自身が自覚して行うことが必要と思う。いじめられた話は良く聞くが、いじめたという話はなかなか聞かない。人権感覚をもっと磨くために大人が手本になることも必要だ。
- 西尾委員 実際にいじめ案件があった場合は、その都度解決しているのか。
- 副教育長 その都度対応している。
- 樋田委員 いじめにより不登校になる子どもはいるか。
- 副教育長 実際にいる。保護者が学校を不信に感じているケースもある。
- 村松委員 スクールカウンセラーなどに保護者が相談されることもあるか。
- 副教育長 そこまでは把握できていないが、不登校や子育ての悩みなどの相談はある。
- 市長 社会人になるとセクシャルハラスメント、パワーハラスメントがある。痛切に感じるのは行う側の認識不足がある。教員や職員等の教育が必要だと思う。こどもも同じであると思う。また、いじめの対処の知見や事例を集め、パターン化して解決策を見出していくことが大事である。
- 教育長 自分たちがいじめ問題に対して真剣に取り組んでいる姿勢を明確にしていくことが大事である。そのために教職員にも対策の手引を配布している。

## 2- (3) ICT教育について

- 事務局（横田担当） 恵那市立武並小学校の授業風景の映像をモニターで写しながら状況を説明する。教員が児童のタブレットを確認しながら授業している様子や、児童がタブレットに集中して問題を解いている様子、先生が児童全ての解答状況をモニターで確認している映像を提供。
- 副教育長 串原小学校では、毎週1回テレビ会議システムを使って瀬戸内海の離島の学校と交流している。また、恵那東中学校の社会科授業を全中学校に配信できないか、

教員も現場にしながらサテライト研修ができないかなど試行している。

- 樋田委員 中学校へのタブレット導入の時期はいつになるのか。
- 事務局 秋頃の予定です。
- 樋田委員 どの教職員も使えるように、専門家の講師を呼び、使い方の研修をすることも必要だ。
- 西尾委員 サテライト授業を撮影することも難しい。そうした撮影技術を習得できると良い。
- 鎌田委員 例えば授業だけでなく生徒会でタブレットを使い他校との交流ができると、学校の活動状況などの意見交換が生徒間でできるのではないか。
- 村松委員 パソコンルームはどうなるのか。また映像がつながりにくい場所はあるのか。
- 事務局 パソコンルームは、小学校は使用しないが、中学校は技術の授業で使うのでまだ残す。無線中継器のルータの設置が不十分な箇所があるので、整備が必要なところもあると感じている。
- 教育長 体育館はつながるのか。
- 事務局 市内で避難所として体育館を指定しており、校舎から配線して設置すれば、Wi-Fi環境は整う。セキュリティのこともあるので、今後検討をしていきたい。
- 教育長 県内で参考にしたい自治体では、観光で生きていくというスタンスで、中学生でICTを活用して、学校やまちの様子を英語で外へ発信し、説明している学校がある。すばらしいと感じており、恵那市も参考にし、少しでも取り入れていきたい。
- 市長 ICT全般で自分が常に言っていることが2つある。1つ目は弱者に対するハンディキャップを埋められる。その最たるものが学校ではないか。離れている学校などでもICTで解決できる可能性があると感じている。2つ目はコミュニケーションでお互いやり取りすることが可能。今までは手に入らないような本などがICT機器を使用すれば手に入ることもできるし、世界最先端の教育を受けられる可能性もある。先ほど話された生徒会同士の交流もICT活用で可能だと思うし、そういうことは支援していきたい。

#### 2- (4) その他の意見交換

- 鎌田委員 ママ友は長く付き合えるし、子どもの幼少期に知り合った親の絆は大事だと感じている。同級生の係わり合いも大切で、小中学校からの友人も大人になってみると大切だと思う。
- 市長 身近な同級生やママ友は、心の拠り所になり大切だと感じている。同窓会に補助を出している自治体もある。
- 樋田委員 ドラマで今、市内がブームになっている。ドラマの効果は大きい数年たつと廃れてしまう。恵那市も二の舞にならないような手を打つことが必要だと思う。イ

ベントなどの宣伝やアクションをおこす力が欲しい。そういう力をつけるためには子どものうちから色々な眼で見る必要がある。少年の主張大会でも自分の意見をもっと言えるような子どもたちを教育できるようになるといい。

■村松委員 自分もロケ地に行き五平餅も買って食べてみたが、改めて素敵な場所だと感じた。市外から出店されている人もいて、恵那市の良さを知って事業展開を考えている若い人もいと認識した。

■市長 一般論で今まで100人ロケ地に来た客が、ドラマ効果で増えたとしてもドラマ終了後は70、80人になってしまう。100～120人が常に来ていただけるような様々な活動が必要だと思っている。見る、食べる、遊ぶなどのコンセプトを持ち進めて行きたい。皆さんも色々なアイデアを伝えていただきたい。

閉会（午後4時50分）

以上をもって第1回恵那市総合教育会議を終了する。